

## 東北情報通信懇談会令和4年度通常総会記念講演会

日時：令和4年5月18日（水） 14：50～16：00  
場所：TKPガーデンシティ仙台 21F ホール21 C/D  
(仙台市青葉区中央1-3-1 AER 21F)

《演題》

### 「ビッグデータ時代のイノベーションインフラ - 次世代放射光施設 -」



東北大学 国際放射光イノベーション・スマート  
研究センター 教授  
総長特別補佐（研究担当）  
（一財）光科学イノベーションセンター 理事長

たかた まさき  
高田 昌樹 氏

《講演概要》

次世代放射光施設は、既存の国内放射光施設を超える光源性能を活かし、様々な物質や生体の機能をナノで可視化するツールです。これまでと異なり、非専門家が理解しやすい可視化された機能のマッピング画像は、このツールを用いる分野との融合を飛躍的に拓げます。そして、計算科学やデータ科学・AIとの融合が一気に進み、課題解決におけるイノベーションを高速化させるゲームチェンジャーとなるでしょう。施設は2024年度から運用が開始されます。その準備として、110社を超える企業と学術が様々な課題を一緒に解決する“コアリション”という戦略的活用の仕組みの実現にむけて様々な検討を始めています。年間数十ペタバイトに上る最新の科学技術データがここから生み出されると考えられています。次世代放射光施設の概略と展望についてお話しします。

《講師プロフィール》

1959年広島県呉市出身。広島大学大学院理学研究科博士後期課程修了。理学博士。  
専門分野は放射光構造科学。1995年に世界で初めて金属内包フラレンの構造決定に成功した。  
名古屋大学助手、島根大学助教授、名古屋大学助教授、高輝度光科学研究センター(JASRI/SPring-8)のグループリーダー、部門長、理化学研究所・放射光科学総合研究センター主任研究員、同・副センター長を経て、2015年より東北大学多元物質科学研究所教授、2020年7月より現職。  
学術が、出資企業と一対一のユニットを組み、放射光施設を利活用する産学連携スキーム「コアリション・コンセプト」等を軸として、東北大学青葉山新キャンパスに2023年完成予定の次世代放射光施設の建設を牽引している。